

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

橋本市教育委員会 弓場大樹

1. 単元名 地域の自然と共生する棚田（ふるさと学習）

2. 単元の目標

- 小川でのサワガニ採集方法、標本作りの手順を学び、サワガニやその他の生物や生態系を知る。
(知識及び技能)
- サワガニの標本作りを通じて、命の尊さに気づき、自然環境に関する課題について考察する表現力を養う。
(思考力、判断力、表現力等)
- 地域の自然や生きものを大切にする心を育て、自分の生活と自然が密接に関わっていることへの実感を養う。
(学びに向かう力、人間性等)

3. 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、5年生の総合的な学習の時間で「棚田でのお米作り」について学習をした。この学習を通して、お米作りの大変さやその重要性を理解するとともに、棚田が自然に囲まれた環境であることについて学びを深めた。

しかし、その自然に囲まれた環境でどのような生物がいたり、なぜおいしいお米が作れるのかということについて学びを深めることや、棚田の環境を自分たちの遊びのフィールドとして捉えられていない児童がほとんどであると感じる点が、本学級の児童の課題であると考えている。

(2) 教材観

地域の棚田の小川に生息するサワガニの生態を観察し、標本作りを体験することで、地域の自然環境の重要性や人々が自然と共存してきた歴史を学ぶことができる教材である。

さらに、この学習を通じて地域の自然に触れる頻度が増え、棚田が特別な存在ではなく、自分たちにとって身近なものだと感じられるようになることを目指し、棚田を自分たちの遊びのフィールドとして捉える視点を育み、未来の地域社会における自然保護の在り方について考えを深めるきっかけとなる教材だと考える。

(3) 指導観

本教材は、この地域で長年大切にされてきた棚田について学びを深めるものであり、現地での学習機会を可能な限り多く確保し、児童が直接棚田の自然に触れる体験を積むことができるよう計画することが大切である。その際、棚田の自然を楽しむだけでなく、ゴミ拾いなどの活動を通じて環境保全の観点に目を向ける指導を心掛けたい。

また、サワガニの標本作りにおいては、命の尊さを感じ、自然や生きものを大切にすることを育むことを目指すとともに、作製した標本を大切に扱うことが、命への尊敬の表れであることに気付けるような指導を行い、児童が自然との関わり方について深く考えを巡らせる機会を作りたい。

(4) ESD との関連

- 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

- 2. 相互性

- 棚田は人と自然の共同作品であり、人の手が加えられることで生態系が保たれ、生態系が保たれることでお米作りが成立しているという見方と考え方を働かせる。

- 3. 有限性

- 棚田は人と自然の共同作品であり、人が手を加えなければ現在の生態系が失われる可能性があることを理解し、自分に何ができるのかという見方・考え方を働かせる。

- 本学習で育てたい ESD の資質・能力

- 3. 多面的・総合的に考える力

- 棚田の自然・生きものの命の尊さについて、さまざまな立場・角度から考える力を育みたい。また、「棚田＝お米作り」だけでなく、棚田を多面的・総合的に考える力や視点を広げられるようにしたい。

- 7. 進んで参加する態度

- 棚田を遊びのフィールドとして捉えていくために、積極的に参加できるようなプログラムを考え、主体的に行動する力を育んでいきたい。

- 本学習で変容を促す ESD の価値観

- 環境配慮…環境を大切にし、保護する意識を持つ。

- 達成が期待される SDGs

- 15. 陸の豊かさを守ろう

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 小川でのサワガニの採集方法を身に付けている。 ② サワガニの標本作りの手順を身に付けている。 ③ サワガニやその他の生物の生態系や特徴を理解している。	① サワガニの標本作りを通じて、命の尊さに気づいている。 ② 自然環境に関する課題について考察している。	① 地域の自然や生きものを大切に、進んで取り組もうとしている。 ② 棚田を遊びのフィールドとして捉えようとしている。

5. 単元の指導計画（全14時間）

【気づく・知る】→【調べる】→【まとめる】→【提案する】→【行動する・発信する】

次	主な学習活動	学習への支援	評価（△）備考（・）
1 気づく 知る	<ul style="list-style-type: none"> ● 棚田を散策する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 給食無しのお弁当の日に合わせて授業を実施する。 ● 棚田を散策するとともにお弁当を食べ、棚田を身近に感じられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウ - ②
2・3 気づく 知る (調べる)	<ul style="list-style-type: none"> ● 棚田にある「芋谷川」で自然観察をする。(多くの生きものがいることを学ぶ・川で遊ぶことの楽しさに触れる) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 危険な場所を活動前に伝え、それ以外の場所は自由に活動できるようにし、児童の主体性を大切にする。 ● 採集した生きものはすべてリリースする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウ - ① ● ウ - ②
4 気づく	<ul style="list-style-type: none"> ● サワガニの生態や、川がもたらす自然への影響についての講座を受け 	<ul style="list-style-type: none"> ● 淡水のみで生活する唯一のカニであることを 	<ul style="list-style-type: none"> ● ア - ③

知る	る。	学び、棚田に残っている自然が貴重であることを知り、学びを深められるようにする。	
5 調べる	● 棚田にある「芋谷川」でサワガニを採集する。	● 生態系や生きものの命への配慮として、サワガニをとる数を1人2匹までとする。	● ア - ① ● イ - ②
6 まとめる	● サワガニの標本作りをする。(薬剤につける)	● 身近なもので薬剤を作り、安全に標本作りができるようにする。	● ア - ②
7・8 まとめる	● サワガニの標本作りをする。(形を整える)	● 形を整える際に標本針を使用するので、必ず数を確認させながら作業を進めさせる。	● ア - ②
9 まとめる	● サワガニの標本作りをする。(最終段階の調整)	● 不要な標本針を外して調整することで完成となるので、必ず数を確認させながら作業を進めさせる。 ● 無理に力を加えないように注意しながら作業を進めさせる。	● イ - ①
10・11 まとめる	● 学習のまとめをする。	● 標本作りを通して、自然環境や命について着目し、自分の考えを述べられるようにする。 ● グループワークを行い、クラス内での発表に向けて学習したことをま	● イ - ②

		とめる。	
12～14 提案する	<ul style="list-style-type: none"> ● クラス内での発表 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各グループによる発表を行う。 ● 取組を提案・発信していくための有効手段について協議する。 	● イ-②
授業外 行動する 発信する	<ul style="list-style-type: none"> ● 【校内展示】 他学年の児童や、フリー参観で訪れる保護者・地域住民への発信を行う。 ● 【第28回ふるさと展望での展示】 展示で伝える内容 <ul style="list-style-type: none"> ①地域に棚田というすばらしい場所があること ②棚田には多くの自然が残っていること ③棚田は人と自然の共同作品であり人の手を加える必要があること ④棚田は自然と触れ合える遊びのフィールドであること ⑤安全な方法でサワガニの標本作りができること ⑥棚田を守るために自分たちにできること を中学校区内の方に知ってもらえるように、展示による発信を行う。 ● 【すさみ町立エビとカニの水族館での展示】 中学校区外の方に広く知ってもらえるように、展示による発信を行う。 		

- 連携 ①和歌山県立自然博物館（授業連携：2次～9次、12次）
②第28回ふるさと展望（展示連携）
③すさみ町立エビとカニの水族館（展示連携）





分からないときは…

授業をしていて、解き方が分からなかったり、説明を聞いていてもすぐに理解できなかったりするときは誰にでもあります。

そんなとき、あなたは どうしますか？

「分かるまで自分で何度も何度も考える」

「分からなかったら教科書やノートを見直す」

など、いくつかの方法があると思いますが、その中に入れておいてほしいのが、

「分からなかったら聞く」

という選択肢です。

ここ数日で、「分からなかったら聞く」の選択肢をしてくれた人が2人ほどいました。

自分たちがゆっくりにしてあろう休み時間を使って、分からないところを分かるようにするために、一生懸命話を聞いていました。

私は、この選択肢をしてくれたことがとてもうれしかったです。

では、他のみんなに聞きます。

みんなはこの選択肢ができていますか？

分からないところは、分からないままにして勉強を終わっていませんか？

分からないことは、恥ずかしいことではありません。

「分からなかったら聞く」この選択肢を大切にしてくださいね。

生きものいっぱい柱本

今週火曜日の5・6限は芋谷の棚田へ行き、川にいる生きものをみんなで捕まえて観察したりしました。見ていてまず感じたのが、みんながとても楽しんでいたということです。

今回のように川に入り、生きものを捕まえる経験が初めての人がクラスの3分の1程度いました。

そんな中でも、笑顔でみんな協力しながら、たくさんの生きものを捕ってくれました。

今回の経験を通して、自分たちの地域の良さを感じ取ってくれたと思っています。

そして、自然と触れ合うことの良さも感じ取ってくれたと思っています。

- ◆ ふるさと学習で、身近にこんなところがあると知り、前よりも魅力に感じました。
- ◆ 棚田の川にいる、いろんな種類の魚や水生昆虫について知ることができて良かったです。
- ◆ 自然をもっと大切にしていきたいと思いました。
- ◆ たくさんの自然があることに気づくことができて良かったです。
- ◆ 地域の生きものに触れることができて良かったです。



いざ自主勉強!!

今日提出してくれた自主勉強をチェックして感じたことがあります。

それは、各自が考えて学習を進めているということです。

なぜそう感じたかというと、いろいろな内容があったからです。

その数なんと「14」。

以前は、「社会の復習」「算数の復習」「漢字の復習」など、ほとんどの人が同じ内容になっていましたが、自分で考えて学習を進めてくれているおかげで、内容が豊富になりました。

【11月6日(月)自主勉強学習内容一覧】

- | | |
|-----------------|-------------|
| ① 社会復習 | ⑧ 大陸の移動について |
| ② 理科復習 | ⑨ 言葉・熟語 |
| ③ 算数復習 | ⑩ 地震について |
| ④ 漢字復習 | ⑪ タイピングについて |
| ⑤ 家庭復習 | ⑫ 法律について |
| ⑥ 図工予習 | ⑬ 速く走るコツ |
| ⑦ 英語 日本語を英語に直そう | ⑭ 秋の俳句 |

こうやって紹介したことで、「あ!そんな勉強もあるんや!」と気づき、またみんなの学習内容が豊富になればうれしいなと思っています。

今日の自主勉強もがんばれ!!

サワガニの標本 フルイドアート 展示します!!

現在みんなが作成中のサワガニの標本と、今日の図工で作成したフルイドアートを教室や廊下に展示しますので、フリー参観のときは是非見てください!! (写真などもバシバシ撮ってください!!)

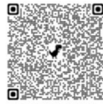




RG. 1. 31 Wed No. 121

ついに展示開始!!

すさみ町立エビとカニの水族館での本格的な展示がスタートしました!!
 公式ホームページにも展示についての詳細が掲載されたり、展示の様子が分かる写真も掲載されたりしています。※下のQRコードから閲覧できます!!
 今回の展示は「特別展 カニ標本から見る和歌山の海」というタイトルでの開催です。
 すさみ町まで距離はありますが、是非お休みの日に紀南地方へのお小旅行を楽しんでいただければと思います!!



みんなの意見を聞いて社会科またまた改良!!

No. 93で紹介した社会科の授業ですが、今月少し改良を加えました。
 今月1回目の改良は、
【ノート作りは予習も兼ねて宿題で→授業→ノートに足りない内容を補充】
 という流れに進めました。
 みんなは宿題からしっかりとノート作りを進めてくれていて、ノートの完成度にびっくりしました。
 確実に「まとめる」という力がついてきていると思います。
 ここで、みんなはどう感じているのか気になったので感想を教えてください。
 「自分でノートをまとめていると、内容が多くなりすぎてしまう。」
 「授業中にまとめる方が集中できて、短時間でまとめることができる。」
 「授業でまとめているときは時間が足りなかったから、家でまとめる方が時間を気にせずにできる。」
 などの意見があり、意見がきれいに2つにわかれしました。
 ここで大切にしたいのが、「学習の個性化」という部分です。
 「こっちにしない!!」ということではなく、自分に合った方を選択してもらおうと思ひ、
 ①自主勉強2P以上「社会科のノート作りは授業中にまとめる」
 ②自主勉強1P以上「社会科のノート作りは宿題でまとめる+授業で補充」
 という選択方式に改良しました。
 みんなの意見を聞くことで、良い形になってきていると感じています。
 社会科の学習も残り少なくなっていますが、最後の最後までみんなにとって良い形とは何なのかを考えながら授業づくりを進めています!!



RG. 02. 14 Wed No. 124

うれしいつながり!!

学校のホームページに、こんな内容の記事がアップされています。

4年生も給食残さず食べてます!	2年生 ごちそうさま!
「6年生が給食を毎日完食しているんだって!!」という話から4年生も「給食の完食日を増やそう!」という目標がたちました。	今日は時間よりも早く「ごちそうさま」できました。食缶が空っぽになるのもあつという間でした。「6年生はもう毎日記録更新してるんやって!」という話にはびっくりしていました。
すると、その日から完食する日が続きついに、1週間!!	みんなもお兄さん、お姉さんみたいになれるといいですね。
みんな協力して「もったいない」を減らしましょう!	
2024-02-09	2024-01-26

みんな知っていましたか?
 そして、読んでみてどう感じましたか?
 私は、6年生の頑張りが、ほかの学年の頑張りに良い影響を与えていることが本当にうれしかったです。何気なく始まった給食残量0記録。
 続けていく中でこの記録を大切にしたいという思いや、学級閉鎖前の大ピンチ・バイキング給食を完食したみんなからは、自信さえ感じます。
 卒業まで、ほかの学年に良い影響を与え続けられるみんなを応援しよう!!

【すさみで輝くみんなのサワガニ標本!!】



振替休日だった今週月曜日に、すさみ町立エビとカニの水族館に行き、みんなのサワガニ標本を見てきました!!
 お客さんも足を止めて見てくれていましたよ!!
 見に来てくれた、いろいろな人の学びにつながるとうれしいですね。